



## 行田市のごみ行政 白紙の経緯と今後を問う

町田 光（黎明21）

**問** 白紙の原因は何か。  
**答** 組合議会において、小針の土地を含め、市民にとつて最も財政負担の少ない方法を要望したことが本市から住民投票の要望が出たことなどが原因であると考える。

**問** 広域組合事業に6年間で要した費用は。  
**答** 3市で総額約6億3千万円、このうち本市は約1億8千万円である。

**問** 市長は、この経費は無駄になったと考えるか。それとも市民負担の少ないごみ行政の推進のため必要経費だと思つか。  
**答** 結果的には、3市で始めたこと自体から間違いだと思っている。こういう経過をたどった結果なので、無駄かどうかなんて無駄である。

**問** 無駄だというのが、責任はどこにあるのか。  
**答** 責任の一つは議会にあるのではないかと。もち

ろん正副管理者にもある。一番の責任者は管理者ではないかと思っている。

**問** 管理者である原口鴻業市長に責任があるということだが、本市が負った無駄になったという経費は、市民の税金で成り立っている部分もある。この経費について、請求は考えているのか。  
**答** これまでの経過から負担割合のとおりになると考えている。

**問** 負担割合ではなく、本市が負った、その無駄になった1億8千万円を超える経費の請求はどのくらいか。  
**答** 請求はしない。

### その他の主な質問

○今後のごみ処理行政について

○市防災組織について

○防災の自助・共助の取り組みについて

○デマンドタクシーの乗降場所拡大について



## 義務教育学校とは何か なぜ行田に「一」だけか

細谷 美恵子（発言と行動する会）

「義務教育学校」は平成28年に新設された9年制の学校で、全国で94校のみである。全国には小学校が約2万校、中学校が約1万校あるが、これらの小中学校とは異なり、小学校の「卒業式」や中学校の「入学式」はない。また、教育成果の検証も未だされていない。本市は一区域に限定し、令和4年から10年間の期限付きで開設を検討しているが、その後の計画は不明であり、子どもや保護者、地域住民にも丁寧な説明されていない。目的が小学校の過小規模校（※注）の解消であれば、小学校同士の統合で解決する。なぜ中学校を無くしてまで義務教育学校を作るのか。建物改修に多大な費用をかけ、しかも10年しか使わない。保護者の願いは現況の解決だけなのであるが。

**問** 令和14年以降の存続計画はあるのか。  
**答** 計画は、たたき台であり確定ではない。

**問** 義務教育学校建設は、「ありき」で一方的に進められている。住民の声も議会の可否も後まわしではおかしい。  
**答** 指摘のとおりで、大変重く受け止めている。

**問** 校名と校歌は10年間しか使わないのか。  
**答** 10年後には使わない。

**問** 義務教育学校をなぜ他地域に普及しないのか。  
**答** 他地域では同様の計画はなく、無理である。

**問** 北部以外の市内全域に「小中一貫校」を作ると発表しているが、そんな学校の種類はないが。  
**答** 小中一貫は教育制度のことで、小中一貫校というものはない。

**※過小規模校**：児童数が極端に少なく、学年毎に授業が成立しない学校。



## 都市基盤の橋りょう 老朽化対策について

小林 修（市民と共に働く会）

**問** 一級河川忍川をはじめ、多くの河川や水路が縦横断に流れ、これらの河川や水路には、大小様々な橋りょうが建設され、多くの方々に利用されている。橋りょうの多くが、昭和30年代の高度成長期に架けられたもので、経年劣化等による損傷が進んでいる。今後さらに急速に高齢化が進展し、大規模補修や橋りょうの架け替え等が一時的に集中すると、多額の投資を迫られることになる。維持管理においては、最適な対策時期、対策規模を計画し、予防保全型の補修工事により、構造物の長寿命化を図ることが重要である。市民が安心安全に利用できるよう、長期的視野で健全な状態を保たなければならぬが、今後の橋りょう長寿命化修繕計画の取り組みは。  
**答** 現在、長寿命化修繕

**問** 計画は、橋長15m以上の橋りょうを対象としているが、703橋全ての点検を完了したことから新たに全ての橋りょうを対象とする橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、維持管理に努める。  
**問** 公園遊具管理について  
**答** 公園は、子どもからお年寄りまで、誰でもいつでも自由に利用でき、快適な潤いある緑の環境を享受できるほか、スポーツを楽しむ場としても利用されている。遊具等の事故防止と安全管理の一層の強化が必要であるが、今後の安心安全を高めるための取り組みは。

**答** 遊具を含めベンチ、あずまや、フェンスなどの公園施設について、更新や延命を定めた公園施設長寿命化計画に基づき計画的に取り組む。

**その他の質問**  
○行財政改革プログラム

13 ぎょうだ議会だより